



文化交流の場

あお陶遊館アルテ竣工

地域の活性化をめざし
粟生駅周辺を整備

第353回 3月定例会

一般質問

- | | |
|----------|----------|
| まつもとあきのり | やまなかおさみ |
| ・松本哲昇 | ・山中修己 |
| よしだしげひろ | かわしまのぶゆき |
| ・吉田成宏 | ・河島信行 |
| まついまさし | すすがきはじめ |
| ・松井精史 | ・鈴木元 |
| ふじいたまお | たけうちおさむ |
| ・藤井玉夫 | ・竹内修 |

議案質疑

- | | |
|----------|---------|
| おかじままさあき | かわなよしぞう |
| ・岡嶋正昭 | ・川名善三 |

■ ■ ■ 議会傍聴 ■ ■ ■

3月定例会84人

6～3月 計281人(託児10人)

3月定例議会

「小野市いじめ等

追放都市宣言」

市と議会が連名で行う

3月定例会

一般質問発言者

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

松本哲昇議員

- ・入札業者の評価について
- ・一般廃棄物最終処分場について
- ・防火訓練について

山中修己議員

- ・地域医療の安全安心について
- ・うるおい交流館エクラの成果について
- ・小野市人事評価制度と報酬の連動について
- ・公金管理とその運用について

吉田成宏議員

- ・学習指導要領の改訂と今後の教育方針について
- ・岐路に立つ農業の将来ビジョンについて
- ・情報発信の新たな手法について

河島信行議員

- ・子どもが『元気』に登校できる学校づくり
- ・KDDI用地取得の有効プラン(教育、スポーツ、レジャーゾーン)構想を踏まえた)について

- ・市民が『元気』に活躍できる環境づくり

松井精史議員

- ・国宝浄土寺周辺整備の進捗状況について
- ・そろばんのまち小野市の今後の行方について
- ・農政施策について

鈴垣元議員

- ・ホテル誘致について
- ・学校給食への地産池消について
- ・多重債務者救済の取り組みについて
- ・経費節減について

藤井玉夫議員

- ・住民参加型社会の推進における市民ボランティア活動について
- ・市街化調整区域における建築制限の一部緩和等に対する市街地活性化対策について
- ・いじめ等防止条例に基づく、今後の施策展開について

竹内修議員

- ・妊産婦健診費用の助成について

質疑発言者

岡嶋正昭議員

- ・議案第12号小野市一般会計補正予算について

川名善三議員

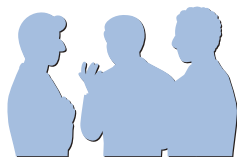
- ・議案第3号小野市一般会計予算について

- ・ユニバーサルデザインに基づくまちづくりについて
- ・特別支援教育の拡充について
- ・乳幼児虐待防止対策について
- ・住民税等の納付緩和処置について

市民のみなさま！議会傍聴にお越しいただきありがとうございました。

平成19年度は、過去最高の281人、託児10人になりました。

本年度も、ぜひ、傍聴にお越しいただき、議会の活性化について、ご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。



第353回 3月市議会定例会

■市議会は、3月定例会を2月28日から3月26日までの28日間開催しました。市長からは、議案第3号から議案第41号まで、各会計補正予算、条例の制定など39議案が提出され、いずれも原案どおり可決しました。議案第3号から議案第11号まで予算特別委員会に審査を付託審査した議案9件は、委員長報告を行い原案のとおり可決しました。

また、議選第1号兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙については、議長の指名推薦により、井上嘉之副市長が当選しました。

ご意見をお待ちしています。 議会のメールアドレス：gikai@city.ono.hyogo.jp



市民クラブ

松本 哲昇 議員

工事請負業者の評価について

質問 工事請負業者の評価点数を公表していないのはどうしてですか

答弁 評価点数は請負業者に通知していますが、市発注の工事に対して、施行状況等を絶対評価により独自に採点するもので、業者の健全育成が狙いであり、評価点を公表すると請負業者の会社の評価につながる恐れがあるため公表はしていません。
今後の対応として、会社名を入れずに、年間発注工事に対して評価点数を公表することは可能であると考えています。
(副市長)

一般最終処分場について

質問 処分場はいつまで使用可能ですか

答弁 現在の最終処分場は、18年経

過して約半分を埋め立てしましたので、平成37年まで使用可能であると考えています。
(市民安全部次長)

質問 処分場が使用不能になった場合の対応はどうしますか

答弁 大阪湾フェニックスへ不燃物を破碎して埋め立て処分を考えています。
(市民安全部次長)

質問 家庭から出る不燃物は破碎すればリサイクル可能ではありませんか

答弁 主に土木資材としてリサイクルは可能であると考えます。県でもリサイクルについての試験施行の実例がありますが、コストが課題であると聞いています。

リサイクルについては見える成果と費用対効果を十分に検証して、前向きに研究いたします。
(市民安全部次長)



市民クラブ

山中 修己 議員

地域医療の安心安全について

質問 北播磨病院の輪番制について診療科の重複をなくし、できるだけ多くの市民が診てもらえるよう工夫してほしい。

答弁 そのとおりであり努力しているが、青野ヶ原病院が医師不足から輪番制を外してほしい意向もあり、輪番制自体を守ることが苦しい状況です。県民局長は、「輪番制には、県が中心になって動く」と言明されているので、期待しているところでは。
(市民病院事務部長)

今後の病院の方向性について

質問 北播磨五病院で過去五年間に41名もの医師が退任しました。これは一つの病院がなくなることに等しい人数です。医師不足は地域では

措置しきれない問題であり、国・県の対応が急がれます。地域としては五病院、開業医、医師会の連携助け合いが重要であると考えています。
(市長)

うるおい交流館 エクラの成果について

質問 満三年を迎えたうるおい交流館エクラの成果について

答弁 平成17年エクラは、NPO法人北播磨活動支援センター(クスクスアルシェ)を指定管理者に定め、新たな市民活動を生み出す場として出発しました。来館者数は年々増加し、平成19年度は27万人に達しました。市民活動団体の交流に加え、クスクスアルシェの支援を得て多くの活動団体が誕生しており、「ことおこし」「ものおこし」「ひとおこし」という成果へとつながってきております。
(総合政策部長)



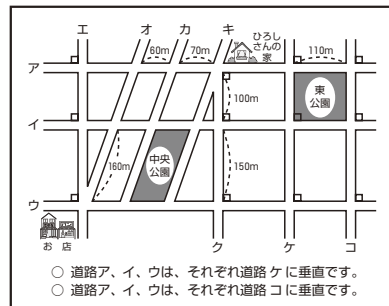
吉田成宏議員

学習指導要領の改定と
市の教育指導方針について

質問 現行の学習指導要領は一九九八年の改定で「生きる力」の育成と「ゆとり」の確保を目指し週五日制の導入と授業時間数の大幅な削減と教育内容の厳選が図られ「総合的な学習」が導入されました。

しかし「新しい学力観」「個性の尊重」と言う「ゆとり教育」は、国際的な学力調査の結果「学力低下」をもたらし、「学校嫌い、不登校の増加」と言う結果を生み、「ゆとり」の名の下に「たるみ」が指摘されるようになりました。そこで本年二月新しく学習指導要領が改定されることになりましたが、今後の市の教育指導方針を学習指導要領の改定にどう整合させるかについて伺います。

ひろしさんの家の近くに東公園があります。東公園の面積と中央公園の面積では、どちらのほうが広いですか。



(最も正答率の低かった算数B問題)

答弁 ①昨年四月の全国一斉学力テストの分析結果では、概ね全国平均並みの正答率であり、市のオンラインワン施策であります「おの検定」が国語力や計算力の確実な定着に大きく寄与していると認識しています。

②知識の活用力及び課題探求型の指導方法には改善を図る必要があります。

③活用力、応用力は全ての教科学習に於いて育成します。

市としては、思考力をより確かなものにするためICT教育(プレゼン技術や、小中連携による教科の一貫性の充実を図り、教育効果をより高めたいと考えています。(教育長)



新生クラブ

河島信行議員

子どもが『元気』に
登校できる学校づくり

質問 小野中・小野東小の①改築の時期 ②関係住民・保護者への理解・協力の進捗状況 ③改築の具体的な取り組みを伺います。

答弁 小野中学校は、平成21年度に実施設計を、平成22年度〜23年度に校舎改築、平成24年度に体育館の改築を計画しています。

小野東小学校は、平成23年度に地元、関係者等の協議をし、平成24年度に実施設計を、平成25年度〜26年度に校舎改築、平成27年度に体育館の改築を予定しております。(教育次長)

健康・福祉・ファミリーゾーン公園構想 ③ひまわりの丘公園と結ぶ健康道路構想

答弁 KDDIとは、土地の境界確認をはじめ、土地引渡事務等を進めています。引渡日が決定すればご報告いたします。

サッカー場や野球場、陸上競技場等のスポーツゾーン、公園や自然を活用した里山整備、キャンプサイト等の交流・レクリエーションゾーン、そして、ひまわりの丘公園など市の他施設との機能分担や相乗効果を狙った事業展開などについて、財政状況も勘案しながら、検討が必要であると考えております。(総合政策部長)

市民が『元気』に活躍できる
環境づくりについて

質問 下水道普及について伺います。

答弁 小野ニュータウンの未整備区域は、今年度から水道仮設工事に着手、平成20年度に下水道工事を予定しています。(水道部長)

KDDI用地取得後の
有効活用プランについて

質問 ①スポーツゾーン(サッカー場、陸上競技場、野球場)の構想 ②



新生クラブ

松井 精史 議員

農業施策について

ひまわりの丘公園と
国宝浄土寺の状況について

質問 点と点を線で結ぶ計画は！

答弁 ・年間百万人が訪れる程、北播磨最大の公園になっております。

・国宝浄土寺裏山は、四国八十八ヶ所周辺の整備と、一万株の紫陽花の植栽を目指して、紫陽花の名所になると考えております。

・浄土寺の西側進入路周辺に地域の地元農産物を使用した加工品の販売所や休憩所、更に観光農園、郷土料理が提供できる施設等を計画致しております。(地域振興部長)

そろばんのまち

小野市の今後の行方について

質問 そろばんの灯を消さない様に！

答弁 関係する組合(製造、ひご、組立、卸し)が一つになってまとも、そろばんの新たなニーズに対応した製品開発も重要である。尚、やる気や成果が見えるものについては、市としても側面から支援していく姿勢である。(地域振興部長)



答弁 ・認定農業者は4 ha以上、集落営農組織は20 ha以上という原則は維持する。

・生産現場からの意見を取り入れ、実態に即した改善となっており、担い手育成に大きな力となる。(地域振興部長)

関係各位の皆様、傍聴に来ていただきありがとうございます。ありがとうございました。

水田経営所得安定対策について

答弁 消費者重視、市場重視の需要に即した米作りを推進しているため、今年も39・62%の減反を行います。(地域振興部長)

質問 対策事業の名称が変わったが、内容はどう変わったのか！



日本共産党

鈴木 恒 元議員

ホテル誘致について

質問 ホテル誘致などは本来、営利を目的とする民間が行う分野だと思いが、あえて市が誘致しようとする理由及び市民にとつてのメリットは何か。

答弁 地方公共団体の役割は、「住民の福祉に増進を図る」ことですが、「住民の福祉」とは広範なもので、活気溢れる小野市の創造をめざし、住んでよかったまち小野を実感していただくのが究極の目標と考えています。ホテルは人口五十万の都市機能の一つとしてぜひ必要なものと考えられており、地域経済に与える影響も大きく、故に全国の多くの自治体で誘致に力を注いでいます。

誘致メリットは、一言でいえば「人の流れを小野に変える」ことにあります。近隣の工業団地関連企業には多くの技術者や作業員が来られ

ており、企業は宿泊先に苦慮されており。その他、ゴルフ場、白雲谷温泉等とのバック、冠婚葬祭等で帰省された方の宿泊等々ニーズは意外に多いと予測しており、雇用の創出も含め誘致による小野市への経済効果は計り知れないものがあると考えています。(総合政策部長)

質問 誘致交渉の進捗状況及び見通しは。

答弁 市民や商工業者の強いホテル誘致の要望を受け、また、小野市のまちづくりと更なる発展には、ホテルという宿泊機能が不可欠であるという考えから、ホテル誘致という大きな夢に向かって、約二年半前から数々のホテル事業者との交渉を重ねてまいりました。現在、交渉を進めております全国展開中のホテル事業者は、小野市への進出に前向きな意向を持たれており、その交渉も最終段階に入ってきております。(市長)



新生クラブ

藤井玉夫 議員

れるが、その対策について

住民参加型社会における

ボランティア活動について

質問 複雑多様化する市民ニーズや地域課題に対し、住民参加型社会の構築が重要性を増しているが、ボランティア活動の実態とその推進支援について

答弁 ボランティア活動は、行政運営や地域の維持発展に欠くことのできないものであり、市の事業に関わるものや公共性の高いものなど、その活動内容により、市としてもできる支援をしていきたい。

(総合政策部長)

市街化調整区域の規制緩和に対する

市街地活性化対策について

質問 市街化調整区域の建築制限の一部緩和等により、小野市街地七ヶ町の高齢化、地価の下落等が懸念さ

答弁 市としてもその対応の必要性は感じており、中心市街地まちづくり協議会を設立して、中心市街地活性化基本計画を策定するための協議を重ねており、平成20年度には計画素案を作成したい。

(地域振興部長)

いじめ等防止条例に基づく

今後の施策展開について

質問 全国初の「いじめ等防止条例」が四月一日から施行されるが、市民会議の開催など具体的な取り組みについて

答弁 いじめ等防止対策の推進には、行政だけでなく、市民、家庭、地域、企業等の協力が不可欠です。諮問機関としての市民会議を設置して、意見を拝聴しながら行動計画を策定し、いじめ等の防止活動を推進します。(市民安全部ヒューマンライフ担当次長)



公明党

竹内 修 議員

妊産婦健診費用の助成について

質問 一昨年三月の定例会議で、お願いした妊産婦健診費用の助成拡充が、平成二十年予算に計上されただが、その内容は。

答弁 北播磨圏内では、最高の三万五千円を上限に費用負担の大きい第八週、第三十四週を中心に五回の健診を「受診券」方式で助成「里帰り分娩」等は「償還払い」で対応。所得制限は設けない。今後、医療機関と連携・協議を進め、より有効で負担の少ないものとなるよう努める。

(市民福祉部長)

ユニバーサルデザインに

基づくまちづくりについて

質問 近年、バッテリーで動く老人車が増加。市民病院に駐車スペースや安全性確保が求められるが。

答弁 ご指摘のとおり利用者の増加が考えられるため、駐車スペースの確保など対応していく。

(市民病院事務部長)

質問 昨年九月の定例会議でお願いした災害時の要介護者支援をより円滑に行う上で通常からの人間関係の強化が求められるが。

答弁 「いきいきサロン」などを交流の場として活用、より精度の高い要介護活動を展開、要介護者がより安心安全に暮らせるまちづくりに努める。

(市民福祉部長)

市民税の納付緩和処置について

質問 退職等、収入激変に対する住民税等の納付緩和処置の現状は。

答弁 生活困窮等支払いが困難な場合、個別に窓口で相談の上、支払い回数を増やすなどの対応を行っている。

(総務部長)



議案質疑

市民クラブ

岡嶋 正昭 議員

一般会計補正予算

質疑 サンパーク整備事業費1千500万円の減額補正予算の具体的な内容についてお聞きします。

答弁 サンパークの整備は、商店街のふれあい広場として整備されてきました。

噴水を無くし、広場として利用できる整備の提案がなされ、実施に向けて現地調査を進めているところです。また、現サンパークをリニューアルする意見等もあり、この件に関しても多面的に検討しており、今後さらに「中心市街地まちづくり協議会」においても、周辺住民の意見を広く聞くなど、細部にわたり協議・検討していくため、減額するものです。

(地域振興部長)

質疑 保育所への入所児童に係る児童措置費、1億1千182万円の減額補正予算の具体的内容について

答弁 現在の保育所への措置児童数は、1千557名。当初見込んでおりました児童の年齢・総人数の減少・単価の改定による減額と加算額の変更により、減額となった保育園などがあり、所要額がほぼ確定したため、減額するものです。

(市民福祉部長)

質疑 中学校・公有財産購入費259万円の補正予算の具体的内容について

答弁 小野中学校改築用地にかかる土地取得の買収分です。

また、周辺に面する土地取得については、当面は計画にはありません。

(教育次長)



議案質疑

公明党

川名 善三 議員

平成20年度

小野市一般会計予算

質疑 市民会館整備事業費6千200万円の具体的内容について

答弁 市民会館は建設後34年経過し、配管の腐食による水漏れが発生、20・21年度で改修します。大ホールの空調設備の更新、ホワイエの空調設備工事、音響機器の更新を行うものです。

(教育次長)

質疑 わかまつ幼稚園整備事業費の具体的内容について

答弁 昭和45年建築のわかまつ幼稚園は、老朽化が進み、屋根の塗装が剥がれ穴があき、屋根全体に腐食が進む心配があります。このために園舎全体の屋根の塗装工事を実施するものです。

(教育次長)

質疑 神戸大学連携事業経費800万円の具体的内容について

答弁 平成17年1月に小野市と神戸大学との協定に基づき実施しました。「青野原俘虜収容所の世界」展を捕虜の母国であるオーストリアでウィーン国家図書館、神戸大学、小野市の共催でいたします。

(教育次長)

質疑 コミセンまちなか講座開設経費75万円の具体的内容について

答弁 吉田表具店宅の利用計画は、寄贈者の遺志を受け、子育て、子供の学習支援やサークル、ボランティア活動の場として活用いたします。小学校4年生以上の児童を対象に週2回、宿題、おの検定、読書等の学習活動を実施し、放課後子ども達が安心して活動できる場所を確保し、健全育成を支援いたします。

(教育次長)

常任委員会審査報告

3月定例会提出議案の審査付託について、10・11・24日に総務文教、民生保健、地域振興各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第3号から第41号までの計39件であり、議案は市当局から詳しく説明がなされ、各常任委員会委員は、付託議案を慎重に審査をいたしました。

◎ 総務文教常任委員会付託議案 ◎

- ・ 議案第12号 平成19年度小野市一般会計補正予算
- ・ 議案第15号 小野市都市開発事業会計補正予算
- ・ 議案第22号 小野市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第32号 兵庫県市町村職員退職手当組合規約の変更について

◎ 民生保健常任委員会付託議案 ◎

- ・ 議案第12号 平成19年度小野市一般会計補正予算
- ・ 議案第13号 平成19年度小野市国民健康保険特別会計補正予算
- ・ 議案第14号 平成19年度老人保健特別会計補正予算
- ・ 議案第16号 平成19年度小野市病院事業会計補正予算
- ・ 議案第17号 平成19年度小野市水道事業会計補正予算
- ・ 議案第18号 平成19年度小野市下水道事業会計補正予算
- ・ 議案第19号 小野市後期高齢者医療に関する条例の制定について
- ・ 議案第20号 小野市後期高齢者医療特別会計条例制定について
- ・ 議案第23号 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第24号 小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第25号 小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第26号 小野市福祉基金条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第27号 小野市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第31号 小野市上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第36号 小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

○総務文教常任委員会（掘井算満委員長）に付託された4件の議案のうち議案第12号小野市一般会計補正予算の審査では、「平成21年度から実施設計をおこなう小野中学校については、効率的な建設をしていただきたい」との意見があり、4議案についてはいずれも全会一

致で可決すべきと決定しました。

○民生保健常任委員会（加島淳委員長）に付託された15件の議案の審査では、反対討論はなく、いずれも全会一致で可決すべきものと決定しました。

○地域振興常任委員会（藤原健委員長）に付託された8件の議案の審査では、反対討論はなく、いずれも全会一致で可決すべきものと決定しました。

致で可決すべきと決定しました。

いじめ等追放都市宣言 小野市から全国へ



あらゆる
人権課題に対処



小野市いじめ等追放都市宣言

すべて人は、かけがえのないひとりの人間として互いに尊重されなければなりません。

小野市では、これまで「市民憲章」や「差別を許さない明るい都市宣言」の下、あらゆる人権課題の解決に向け、たゆまぬ努力を重ねてきました。

しかし、近年の社会の急激な変化は、人々の生活を変容させ、利己主義や人命軽視などの心の荒廃をもたらし、その結果、人間としての尊厳を傷つけるいじめ等の事象が新たに生じてきています。

よって、小野市では、このたび全国に先駆けて制定した「いじめ等防止条例」を契機として、すべての市民があらゆる人権侵害を根絶し、いじめ等のない、明るく住みよい社会づくりを一層推進していくことを誓い、ここに「いじめ等追放都市」を宣言します。

平成20年3月26日

小野市
小野市議会

◎ 地域振興常任委員会付託議案 ◎

- ・ 議案第12号 平成19年度小野市一般会計補正予算
- ・ 議案第21号 小野市開発事業に係る調整及び地域のまちづくりの推進に関する条例の制定について
- ・ 議案第28号 小野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第29号 小野市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第30号 小野市白雲谷温泉ゆぴかの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第33号 小野市道路線の認定について
- ・ 議案第34号 小野市道路線の変更について
- ・ 議案第35号 小野市都市公園の管理に係る指定管理者の指定について

予算特別委員会意見

予算総額 384億円

平成20年度の小野市予算案が、3月定例会に提出。これを受け議会は、全議員による予算特別委員会を設置して、3月13、14、19日に予算審査を実施。新年度予算が市政の運営にどう反映するのか、市政をどのように運営するのかなど、多くの意見が出されました。

予算特別委員会が各部局へ要望した意見は下記のとおりです。

付託議案（9件）

- ・ 議案第3号 平成20年度小野市一般会計予算
- ・ 議案第4号 平成20年度小野市国民健康保険特別会計予算
- ・ 議案第5号 平成20年度小野市老人保健特別会計予算
- ・ 議案第6号 平成20年度小野市介護保険特別会計予算
- ・ 議案第7号 平成20年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
- ・ 議案第8号 平成20年度小野市都市開発事業会計予算
- ・ 議案第9号 平成20年度小野市病院事業会計予算
- ・ 議案第10号 平成20年度小野市水道事業会計予算
- ・ 議案第11号 平成20年度小野市下水道事業会計予算

総合政策部

◎うるおい交流館エクラがオープンしてから三年が経過し、市民活動の拠点として、また文化・交流の場として、なお一層、親しまれる施設を目指すとともに、市民の利便性が向上するよう今後もしっかり取り組まなければならない。

総務部

◎国際化時代、海外研修には、多くの若手職員を参加させ、国際的な異文化学習を行う機会を増やすよう検討されたい。

市民安全部

◎環境基本計画の策定にあたっては、“きれいなふるさと小野市”を望めるような、小野市独自のオンリーワン基本計画の策定に取り組まなければならない。

◎公共駐車場における、車上ねらいや当て逃げ等の事件が多発していることから、更なる安全・安心パトロールの巡視強化を図られたい。

◎交差点での交通事故が多発しており、ドライバーの意識向上への取り組みは勿論のこと、各部署との連携を強化し、路面標識等を更に工夫され、交通事故防止に努められたい。

市民福祉部

◎小野市の住基カードの普及率は、県平均普及率よりも低い。住基

カードは身分証明としても有益性があるため、積極的にPRし、更なる普及啓発に努力されたい。

◎高齢者の虐待予防支援として、各種マニュアルの整備及びシステムの再構築を検討され、市民だれもが安心して暮らしていけるよう、今後も、ヒューマンライフグループとの連携を密にし、虐待のない、明るい小野の実現を目指し努力されたい。

◎そろばんフォーラムにおいて、発達障害者に対しての兵庫教育大学教授の講義がありました。そろばんのご当地でもあり、これらを活かした事業展開が図られるよう、前向きな取り組みを検討されたい。

地域振興部

◎産業フェスティバルは商工会議所への委託事業であるが、商工観光課も新たな施策を提案するなど、小野市と商工会議所の連携強化を図り、これまで以上の産業フェスティバルが展開されるよう努力されたい。

「さらなる進化と変革」

「ぶれない理念」と「ぶれない市政運営」をめざす

3重点 項目

- ・安全安心社会の推進
- ・福祉、教育の充実
- ・地域活性化の推進

◎中小企業相談業務として商工会議所へ補助金を交付しているが、相談業務の更なる強化が図られるよう、商工会議所へ働きかけ、市内企業の育成に努められたい。

◎新殖産品認定事業の更なる展開を図り、新規事業に取り組む企業やグループに対し、販路・流通・技術支援情報の提供を積極的に行うことに取り組まれたい。

市民病院

◎小野市の一大プロジェクトであるホテル誘致にあわせ、市民病院における人間ドックの充実を図るとともに、様々な企業や業界への働きかけを行うなど、更なる経営収益の向上に努力されたい。

教育委員会

◎市内各学校施設の整備事業（プール改修工事を含む）については、早急に中長期の事業計画を立て、

児童生徒が安心して学ぶことのできる校舎施設の計画的な運用を図られたい。

◎トライやる・ウィーク推進事業費の、県補助費は削減されているところであるが、将来ある中学生にとって、トライやる・ウィークは、社会体験を学習することのできる貴重な機会であるため、今後更なる工夫と研究を重ね、なお一層の充実したトライやる・ウィーク事業を推進されるよう努力されたい。

◎児童・生徒だれもが安心して学習できる、「ハートフルシティおの」の実現を目指し、スクールアシスタントの配置や就学援助費など、引き続き、ハートフル政策を根底にした予算編成に努められたい。

◎市民会館は、毎年計画的に改修工事をされているが、大ホールの座

席数については、エクラホールの座席数との関係等、幅広い視野で調査されたい。加えて、様々な見地から検討を重ね、安全性最優先の市民から愛され喜ばれる施設になるよう努められたい。

◎視聴覚教育では、DVDが取り入れられてきているが、学校図書においても、その取り組みを調査され、なお一層、児童生徒の学力向上が図られるよう研究されたい。

◎上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」は、小野市が全国発信している事業であり、日本一の短歌大会である。

来年に行われる、第20回記念大会に向け、様々な思考と努力を重ね、市内外へ広くPRするとともに、これまで以上の成果のある大会となるよう一層の努力をされたい。

◎議会の動き◎

【2月】

- 6日 全国市議会基地協議会総会（東京都）
- 7日 静岡県沼津市議会視察受け入れ
- 8日 兵庫県市議会議長会総会（神戸市）
- 14日～15日
新生クラブ会派行政視察（高知県香美市）
- 19日 北播衛生事務組合議会
- 20日 議会運営委員会・会派会
- 21日 小野加東環境施設事務組合議会
広域行政圏市議会協議会総会（東京都）
- 25日 議員協議会
北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合議会
- 28日 本会議（第1日）
- 29日 議員待遇者会役員会
播磨内陸医務事業組合議会

【3月】

- 4日 小野加東広域事務組合議会
- 7日 議会運営委員会・市議会報編集委員会
- 10日 本会議（第2日）
総務文教常任委員会
- 11日 民生保健・地域振興常任委員会
本会議（第3日）
- 13日 予算特別委員会
- 14日 予算特別委員会
- 19日 予算特別委員会
- 24日 総務文教・民生保健・地域振興常任委員会
- 26日 議会運営委員会・議員協議会
本会議（第4日）

【4月】

- 4日 東播淡路市議会議長会事務局長会（淡路市）
- 11日 東播淡路市議会議長会総会（淡路市）
- 15日 近畿市議会議長会総会（大阪府門真市）
- 16日 兵庫県市議会議長会事務局長会（南あわじ市）
- 18日 市議会報編集委員会
- 23日 兵庫県市議会議長会総会（南あわじ市）

●今期市議会で可決された主な予算●

市長提出議案

- ・平成20年度予算
総額 383億8,000万円
- 《一般会計》 178億7,000万円
- 《特別会計》 86億4,000万円
- 《企業会計》 118億7,000万円

【新年度の重点事項】

〈安全・安心社会の推進〉

- ・旭丘、河合、小野南中学校の耐震補強工事
4億8,500万円
- ・市場、大部小学校の耐震化補強計画策定
1,330万円

〈子育て支援など福祉・教育の充実〉

- ・いじめ等防止条例に基づいた、市民会議や啓発活動実施事業 150万円
- ・妊婦検診補助の拡充 1,792万円
- ・デマンドバス（予約制バス）の連日運行
1,200万円

- ・小学6年生までの医療費完全無料化
1億1,076万円

- ・中番、市場、小野東小学校のプール改修工事
1,750万円

- ・市場小学校の整備 1,000万円
- ・特別支援学校体育館の整備 730万円
- ・図書館システムの更新 1,700万円
- ・スポーツ施設予約システムの整備 1,000万円

〈地域活性化の推進〉

- ・河合運動広場の整備 2億2,000万円
- ・市民会館の大規模改修工事 1億3,500万円
- ・市道（208号線、5202号線）、ひまわりの丘公園周辺の道路整備 2億3,300万円
- ・樫山駅及び粟生駅周辺の整備 2億4,300万円
- ・全国ハープサミットに向けた取り組み
750万円

- ・コミセンいちば・おおべの改修工事 2,300万円
- ・小野市副市長の選任について

樫山町 井上嘉之氏（再任）
粟生町 小林清豪氏（就任）

6月20日（金）	午後1時30分	◎ 6月定例会日程 ◎
6月13日（金）	午前10時	
6月12日（木）	午前10時	
6月2日（月）	午前10時	
5月14日（水）	午前10時	◎ 5月臨時会日程 ◎

5月臨時会・6月定例会の日程が決まりました。

次回定例会の日程

【反対討論のあった議案】

- 議案第3号 平成20年度小野市一般会計予算
- 議案第4号 平成20年度小野市国民健康保険特別会計予算
- 議案第5号 平成20年度小野市老人保健特別会計予算
- 議案第7号 平成20年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第19号 小野市後期高齢者医療に関する条例の制定について
- 議案第20号 小野市後期高齢者医療特別会計条例の制定について
- 議案第24号 小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第36号 小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

託児コーナー

6月12日（木）・13日（金）

6月定例会も託児コーナーを開設します。
一週間前に、議会事務局までお申し込みください。

